

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

立教百八十三年
明けましておめでとうございませす



旧年中は大変ご苦勞様でした。大教会創立百三十周年記念祭並びに六代会長就任奉告祭に向け、三年千日と仕切つての成人の歩みの一年目として、初席者を御守護頂くべく百万件に在がけの実施に

精一杯お努め頂きまして、誠にありがとうございます。今年二年目として、より成人の歩みを早めるべく昨年の活動方針に新たに「おさづけを身近に」を加えて実施させて頂

きたいと思ひます。「身近に」とはよふぼくがおさづけを取り次ぐのはもちろん、よふぼくでない人もおさづけを取り次いで貰う等、おさづけに親しんで貰うことであります。一昨年より真柱様の御身上によりおさづけを戴くのが大変困難になっていませす。だからこそおさづけの有難さを身近に感じさせて頂く事が大切だと思ひます。

近年、自然環境・社会環境が大きく変わりつつあります。より一層よふぼくの役割が大きく大切なものになっていませす。年頭に当たり真柱様は「情性に流されず、信仰の歩み方の基本をしっかり思い起こして、昨年より少しでも成人させて頂きたい。」と述べられました。笠岡に繋がるお互いは、三年千日の歩みが正しく真柱様のお心にお応えする歩みだとしつかり胸に湛えて、今年一年の成人の歩みを進めさせて頂きませす。

立教 183年
1月号

笠岡大教会長
上原理一

立教183年
各部会の抱負 及び
年間行事予定

創立百三十周年記念祭
・六代会長就任奉告祭
活動推進委員会

笠岡大教会創立百三十周年記念祭・

六代会長就任奉告祭 二年千日活動

スローガン

陽気ぐらしを目指して、

たすけの輪を広げよう

活動目標

☆今 一手一つに、一歩一歩！

二年目 ・一教会、初席者一名以上

・おさづけを身近に

― 教会で祭典後の

おさづけ取り次ぎ

・百万件のにをいがけ

(昨年より継続)

活動趣旨文

大教会創立百三十周年記念祭・六代会長就任奉告祭という、笠岡の理につながる私達にとっての大きな成人の塚

を目指して歩み始めた三年千日の活動。笠岡につながるお互いが大きな目標に向かって一手一つに、一歩一歩の成人を目指し歩もうと申し合わせて通らせていただいた一年間でした。

神一条と一手一つは、おつとめを勤めるうえにおいて一番大切なことであると同時に、日々の信仰生活においても、最も大切な心の持ち方、通り方でもあります。

一昨年の春季大祭で真柱様は、講話の最後に、かんろだいの節から「一手一つ」という語を、次のように繰り返し強調されました。

・「それぞれの教会の活動も、各会、各部の活動も、すべてそうした道の人材を育て、増やすためのものだと申しても過言ではない。これらの活動が一手一つに行われていたならば、それでいいのであります」

・「あらためて、世界一れつの陽気ぐらしという私たちの目標を見つめ直し、何よりもお互いがしっかりと心をつなぎ合い、一手一つに一歩一歩、地に足の着いた歩みを積み重ねていきたい」とお話くださっています。そこで、具体的な活動として、昨年は、初席者一名以上と百万件にをいが

けに取り組ませて頂きました。

二年目となる本年は、昨年の活動を継続しながら、二年目の実行目標として、「おさづけを身近に―教会で祭典後のおさづけ取り次ぎ」と、定めさせていただきました。この身近という言葉の中には、ようぼくがおさづけを取り次ぐというだけでなく、ようぼく以外の人は、積極的に取り次いでもらうという意味が含まれています。毎日の生活の中でおさづけを強く意識できるように、更には、おさづけを通して親神様のご守護を身近に感じることの出来るよう、おさづけにこだわった一年とさせていただきます。

特に「つとめとさづけ」とも仰せいただくように、毎月の祭典を通して、おつとめでちばの理を頂戴し、おさづけを取り次がせていただくことは大切なことです。祭典後におさづけの取り次ぎ、或いは取り次ぎ合いを実行し、おさづけの雰囲気溢れる教会を目指したいと思います。

●活動目標について

スローガンを推進していく上での、具体的な活動目標です。

・一教会、初席者一名以上

人材の育成は常時や、年祭活動などの非常時にかかわらず、常に教会として欠かすことのできない働きかけです。しかし、ここ数年人作りの成果の上に、反映されていない教会が多数あるのが現状です。更には、常に意識していなければ慣れてきてしまうのが問題です。そうした上から、特にこの三年間は、毎年一名以上の初席者を全教会が目指し、人作りの雰囲気を高めていきたい。

・おさづけを身近に―

教会で祭典後のおさづけ取り次ぎ

おさづけの理は、別席順序を運び、人をたすけたいとの真実誠の心に授けられるものです。そこには、親神様が一つに陽気ぐらしをさせてやりたいとの親心がこめられており、身上に障りをいただいで苦しみ悩んでいる人に、親神様のご守護がいただけるよう、取り次がせていただくものです。直肌に取り次ぐのが基本ですが、それが難しい場合は、その事の由を申し上げて取り次ぎます。

おさづけの一番の特徴ですが、自分には取り次ぐことができません。自分が身上に障りをいただいでいるとき

は、躊躇せず、どなたかよぶくの方に
取り次いでいただきましょう。一日
6回まで取り次いで頂くことができま
す。

・百万件のにいがけ

人作りは三年間通して掲げていきま
すが、その人作りの上に繋がる活動と
して、今年も「百万件のにいがけ」
を目指して活動を進めたいと思いま
す。

形態は問いませんし、千差万別のに
いがけがあると思います。パンフレ
ット配布や戸別訪問、神名流しや路傍
講演は勿論のこと、職場での一言の
をいがけ、更には、教会や自宅周辺で
のゴミ拾いや挨拶。ゴミ集積所や公園
など公共施設のひのきしん。人の靴や
スリッパを揃えるなど、様々な行動が
立派なにいがけになるのです。

大切なことは続けるということ。自
分にできるにいがけを実践しましよ
う。

毎月の祭典報告書に件数を記入し提
出していただきます。教会に繋がるよ
うぼく信者さんまで声を掛けて頂き、
実践したにいがけ件数を報告しても
らえるよう工夫をお願いします。

布教部

笠岡大教会として、いよいよ「創立
百三十周年記念祭並びに六代会長就任
奉告祭」に向かう二年目の本年。活動
スローガン「陽気ぐらしを目指して、
たすけの輪を広げよう」に一步でも近
づくことのできるよう、取り組ませて
いただきます。

真柱様は

「私たちが目指す陽気ぐらしは、よう
ぼく一人ひとりが親神様・教祖のお心
に添って、一歩ずつ歩みを進めるなか
で、だんだんとその輪が広がっていく
ものだと思います。

まずは家族をはじめ、身の周りの人
たちにしつかりと信仰を伝え、互いに
たすけ合う生き方を実践し、土地所に
映していきたいと存じます。」

とお示し下さいます。私たちの日常の
生活の中でできる「たすけ合う生き方」
の輪を広げることができるよう、布教
部が旗振り役となり動を展開していき
ます。

昨年より実施しております「行列の
できる勉強会」を、今年も開催させて
いただきます。

内容は順次発表いたします。教理勉

強と共に、おたすけに役立つ専門知識
の習得の上に、幅広く声掛けをお願い
します。

に連絡して頂くようお願い致し
ます。

◎年間行事

1. 立教183年 教会長講習会

日時

2月25日 13時30分 受付

14時00分 開講式

26日 各自祭典参拝後

解散

会場 笠岡詰所

内容

- ・ 大教会長様講話
- ・ 教会活動の実際

「地域に必要とされる教会を目
指してー子ども食堂への取り組
み」(仮称)

講師・大縣大教会部属天平分
教会会長夫人・上平敏子先生

- ・ 練り合い、意見交換
- ・ 25日は夕食を兼ねた情報交換を
予定しています。

対象 教会長

受講お供 3,000円

(受付で納めて下さい)

※身上等でやむを得ず欠席の場合
は、その理由を必ず大教会長様

2. 別席ひのきしん団参

日時 10月25日(日)

別席ひのきしん団参を実施して
十数年が経過します。帰参者の増
員はもちろんです。本年も「一
教会、初席者一名以上」の活動目
標が達成できるよう、初帰参者・
別席者の増員に力を入れて取り組
みたいと思います。初席者、中席
者のご守護が頂けるよう、各教会
で声掛け、働きかけをお願いします。

3. 立教183年全教一斉ひのきしんデー

期日 4月29日(水・祝)

※参加への呼びかけを(特に、教
会と離れた地域に住まうよぶぼ
くへも、所属教会から積極的な
声掛けをお願いします。)

4. 「行列のできる勉強会」

テーマ「家族のおたすけ

・ 発達障害」

日時 3月21日(土)

9月21日(月・祝)

大教会祭典後



5. 立教183年全教一斉にをいがけデー
・9月23日(水)

笠岡にをいがけ推進日
・9月28日(月)

全教会長路傍講演の日
・9月29日(火)・30日(水)
全よぶく実動日

※9月は布教強調の月です。総ての教会で活動を進めることが出来るよう計画致します。

海外部

海外部の動きは海外移住者・海外の現地人用木・信者へ、教内の動き・笠岡の動きを伝える文書伝道が続けていく事と、帰参される方々のお世話取りとお手伝いを理の方々とさせて頂く事。来日される外国の人達への布教活動などを通して、海外伝道の意識を持った人材を育てていくことにあると思えます。

例年の英語講習会、11月の月次祭祭典講話に代えての海外伝道講習会、また広島平和公園での外国語パンフレット配布などの行事も、未来に繋がる海外伝道の意識を高めるものであります。文化活動・英語クラブも2月で5年目に突入し、語学勉強の一助になればと思えます。そして、今年でタンザニアの国へのおたすけ活動も12年目を迎えます。将来現地の人達が中心となつてつとめ・さづけ・教えを通して喜びを共有できる場を持つる事を目標に展望を持って動かさせて頂きます。今年も、世界だすけを基盤として信仰を深めるアプローチを続けていきたいと思えます。

年間行事

1. 英文パンフレットを配布(3月と11月に広島島の観光地へ行きます)
：海外伝道に携わらせて頂く理作りをさせて頂くものです。

2. 英語講習会(8月5、6日に開催)

：昭和43年に始まったこの講習会は今年で78回目を数えます。毎年海外のネイティブスピーカーをゲストとして呼びびし、参加者とのクラス、バーベキュー、クイズなどを通しての英会話、海外伝道の思いを聞かせて貰います。

3. 海外伝道講習会

(11月21日の月次祭に合わせて)
：外部講師をお呼びびし、海外伝道に携わる話を聞かせて頂き、日々の信仰生活のヒントにして頂くのが目的です。

4. アフリカ孤児支援バザー桜祭り

(於：大教会 開催【4月5日(日)】)

5. 英語クラブ(月1回、毎月22日夜

7時から8時半まで開催しています)
：語学勉強・海外布教の手助けが目的です。

育成部

ようぶく勉強会

毎月21日午後1時30分〜2時。但し、大祭月、外部講師のお話月以外に開催。

管理部

管理部では立教184年10月24日に施行される創立記念祭に照準を合わせ、庭木の管理や大教会内の片付け・整理を順次行つてゆく予定です。

三年千日の2年目のこの年に行うひのきしんが当日を迎えるための初めの作業になります。大教会に来られるすべての人たちが心地よく参拝でき、気分良くお帰り頂ける様つとめさせて頂きますので、お力添え下さいませ様何卒宜しくお願い致します。

○3月

講堂中2階・講堂舞
台裏倉庫の片付け、
処分

○5〜6月

庭木伐採・剪定

○夏季

草刈り

○10月

庭木剪定

○12月22日

大掃除

婦人会

新年おめでとうございます

旧年中はとりわけ支部御臨席総会開催に対し、会員はじめ各部各会の皆様のお力添えを本当に心より御礼申し上げます。

本年4月、創立110周年記念総会を目前に控え、支部一丸となつて、百万会員を目指したいという会長様のお心に一手一つにとりくみ、実のある結果を頂きますよう、勇んでつとめさせて頂きたいと存じます。会員の皆様、どうぞお心寄せをお願い申し上げます。そして、この旬に自らも育ち、身の周りの人々が実のようぼくに育つていけるよう、本年も心一つにとり組ませて頂きたいと存じます。とくに4月総会にはご臨席総会にご参加下さった会員共々にござつて親元にかえらせて頂きましょう。

- 1月28日 婦人会創立の日
- 2月3日 直轄委員長・委員研修会
- 4月18日 よろこびのパレード
- 4月19日 婦人会創立110周年記念
第102回総会 本家中庭
- 9月23日 委員長後継者講習会

10月31日 ひまわりの会の集い
11月7日・8日 こだん様に続く会

青年会

新年明けましておめでとうござい
す。

昨年は、青年会活動の上に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございました。本年もより一層のお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願
いいたします。

さて、本年は青年会長様が総会の席上でお示しくだされた十年後のビジョンに向かつて、分会として何ができるのかをしっかりと練り合い活動を進めていく年であると考えています。会員一人一人が自分の経験・得分を活かした「おたすけ・にをいがけ」に邁進できるよう、分会として取り組ませて頂きたいと思ひます。

また、笠岡大教会創立130周年記念祭に向けて2年目の歩みを、青年会の若い力で盛り立てていけるよう、勇んでつとめさせて頂きます。

・おやさとしん青年会ひのきしん隊

- 8月3日〜24日
- 三日隊..... 8月14日〜16日
- ひのきしん団参..... 6月28日
- 第96回天理教青年会総会..... 10月27日
- 有志ひのきしん隊..... 毎月(随時)

少年会

日頃は少年会の活動の上にお心寄せいただき、誠にありがとうございます。

少年会の目指すところは、子供たちが将来立派なようぼくになるための基礎をつくることです。

そして子供たちの育成に当たつて大切なことは、子供たちの心に様々な喜びの種を植えてやることです。そのためにも、育成者である私たちが、しっかりと陽気ぐらしの実践を心掛け、そこで味わう喜びを子供たちに言葉で伝え、態度で映していきたいと思ひます。

今年も少年会活動の上にお力添えをよろしくお願い致します。

―立教183年少年会笠岡団行事予定―

- 3月30日〜4月1日
- 笠岡むつみ鼓笛合同合宿
- 4月1日 おつとめまなび総会

○6月21日 育成講習会
○7月26日〜8月2日

こどもおぢばがえり
○8月21日〜23日 サマーキャンプ
○11月22日 わかぎのつどい
○3・6・7・8・9・11月の21日

親子参拝推進行事「テッチャンシアター」

学生担当委員会

行事計画

- 2月5日〜7日 管内高校受験世話取り
- 2月21日 学生層育成者講習会
- 2月27日〜3月1日 管内高校受験世話取り
- 3月3日〜9日 学修 大学の部
- 3月10日〜12日 学修 高校卒業生コース
- 3月28日 春学 直属アワー
- 4月か5月 おぢば管内新入生歓迎会
- 8月9日〜15日 学修 高校の部



年末大掃除

管理部



細部の清掃に励む少年会員たち

12月22日(日)、管理部(虫明立生部長)は恒例の年末大掃除を行い、大教会長様ご夫妻をはじめ役員・婦人会・青年会・信者ら約70人が参加した。午前8時半から神殿内の結界・賽銭箱・鳴物などを廊下に出し外のバタ板を入れ、倉庫から脚立やシート・ビデ・



高所作業を見守られる奥様

はたきを神殿内に搬入。午前9時、大教会長様のお手に合わせて三殿礼拝後、それぞれの持ち場に分かれて大掃除が始まった。役員は神床の社・御簾から上段の欄間など水拭き・空拭き、そして神殿渡り廊下の隅々に至るまで手際良く進められた。また婦人会は雑巾の準備から渡り廊下の窓拭き・トイレ掃除・信者室の清掃、昼食準備などきめ細やかにを行い、昼食後、解散した。大掃除の開始と同時に正月飾りの門松用の孟宗竹を有志数人で取りに行き、着々と新年に向けての準備が進められた。年の瀬のお忙しい中を大教会の上にご参加頂きまして誠に有難うございました。

(管理部長 虫明立生)

恒例の餅つきに笑顔いっぱい

12・27 詰所

12月26日、本部月次祭終了後、恒例の詰所餅つきひのきしんの準備が始まりました。

夜には大教会から牡蠣、島根分教会から蟹の差し入れを頂き大いに鋭気を養いました。

27日、午前8時より餅つき開始。総勢50人の大所帯で餅つきが始まり、1人でつく者、また2人で息を合わせてつく者、また3日同時につく等、それは勇ましいものでした。つきあげた餅は5升餅にまた小餅に丸めるひのきしんは女性を中心に笑顔いっぱい仕上げられました。結果5升餅を20個、小餅多数となりました。

12月30日、南礼拝場へ配送、ご苦労様ですの声を頂きました。(詰所掛主任 杉原博之)



婦人会員・少年会員も総出でひのきしん



かつての少年会員も立派な搗き手になりました



27年かかったありがとう

大恵山分教会 瀬藤 勇 希

何故生きているのか分からなくなつた。生きる為の理由が分からなくなつた。そんな時又従兄弟(まといとこ)はとことふりがなから修養科に行つてみんかと誘われ何だかんだで行くことになりました。修養科でかしかも・かりものについて学び今あるこの体が五体満足に動くことに感謝するようになり27年間ずっと育ててくれて迷惑ばかりかけてきた祖母に伝えることが出来なかつた修養科での生活、学びをきっかけに素直に言うことが出来て初めて祖母におさづけを取り次ぎました。「今迄ありがとう、本当に迷惑しか掛けてこなかつたけど大切に育ててくれてたことに気がついたら」と伝えました。祖母の返事が予想外で、優しくありがとうを返してくれました。迷惑をかけてきた自分に対してありがたいのかとと気が付きまし

た。この気持ち、心を忘れることの無い様に今後の人生に生かしていこうと思ひます。このことに気づくことが出来て中々言うことが出来なかつたありがとうを伝えることが出来る人になれた修養科での生活はとても意味のある充実した3ヶ月でした。修養科での生活でも多くの人に支えられて助けてもらい3ヶ月無事に通らせてもらいました。この経験を知らない人に、自分を見てもらつて伝えていけたらと思ひます。

修養科で学んだこと

東城分教会 吉谷 京子

私の天理教の信仰は親の勧めのまま用木となりましたが、一定の距離を保ち浅い関わりでいこうと思つていました。これまでの人生の中で夫婦二人とも、大きな身上を経験していましたが、その時だけの神頼みで神様を深く意識してこなかつたと思ひます。夫は常々定年退職したら修養科へ入らせてもらうと約束していましたが、私の身上や仕事の都合で先延ばししていました。今回夫が参加を決め私も誘われ、参加できない理由もなくなり夫婦揃つての参加となりました。

3ヶ月も宗教について勉強するならおてふりや鳴り物の習得を目指そう、理解しようとしなかつた天理教の教えそのものに真つ向から挑んでみようと思ひました。身上を見せられている我が身の心をどのように捉えたら良いか向き合つてみようと考えました。しかし修養科での他人と24時間過ごす共同生活は時に心が折れそうになったり、食堂や長期ひのきしん等々に勇んでという気持ちには中々なれませんでした。でも生活に慣れ詰所から本部までの往路に季節の移り変わりを感じ、銀杏を収穫し紅葉を楽しみ小さな花に癒やされ、修養科生とみかぐらうたを歌いながら通う時間は満たされてきました。2ヶ月くらいから朝礼前におてふり練習を始め最初は笠岡だけで細々としていましたが、他の詰所の方々も迎えられることができ修了前には20人もの方達と声を合わせ踊ることができました。人との繋がりは笑顔と心意気が大切だと実感しました。

いままでほとんど心でいたるとも
いちやのまにも心いれかゑ
しんぢつに心すきやいかいれかゑば
それも月日がすぐうけとる
「日が経てば、その場の心が弛んで

来るから、何度の理に知らさにやならん。」

身上や事情の上にしるしを見せ、心を入れ替える節を与えられた、また喜べなかつた事を心から喜べるようにこの機会を与えられたと感謝します。

最後になりましたが、教養掛の各先生方、詰所の先生方大変お世話になりました。この機会を与えて下さりありがとうございました。

大教会だより

◎第九四二期修養科

自 立教183年10月1日
至 立教183年12月27日

*教 養 掛

*教 養 掛(主任、副主任)

一ヶ月目 ⑤ 吉岡 誠一郎

(大教会役員・興明分教会長)

⑥ 福島 泰道

(瑞北分教会長)

二ヶ月目 ⑤ 武内 正美

(大教会役員・高屋分教会長)

⑥ 上原 一始

十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には一列我が子の陽気ぐらしを楽しみに 万一切のご守護を下さるだけでなく 人間が一人一人に自由を許された心の使い方を誤り身上事情で苦しまなければならぬ所を 大難は小難に 小難は無難にとお連れ通り頂き 教祖を社としてたすけの理をお現し下され陽気ぐらしへとお導き下さいます事は誠に有り難い極みでございます 私共は日々朝夕に御礼を申し上げつつ ご恩報じを念じてたすけ一条のご用の上に努め励ませて頂いております

その中でも今日の吉日は 月毎の御祭りを執り行う日柄であり本年仕上げの月に当たりますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心も一入に 明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりを勤めて本年納めの月次祭を執り行わせて頂きます 御前には折柄の寒さや遠近を問わず 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が今年一年のお礼と共に 新しい年により一層の成人をお誓い申し上げます 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて本年は平成から令和へと年号が改まり慶祝ムードの高まりと共に ラグビーの活躍によりワンチームの言葉に酔いれました しかし一方で自然災害により犠牲者や被害が出 多くの人々が苦しむばかりでなく 高齢化社会の問題点が浮き彫りになった一年でしたので 尚一層御教えによる心の救済に力を注いで行く所存でございます

又先日別の席ひのきしん団参は結構にお連れ通り頂き誠に有り難うございました 晴天のご守護も頂いて皆喜び心も一杯に おつとめや回廊拭きひのきしんに勇ませて頂き 二年後の記念祭に向けより一層勇んでたすけの輪を広げられるよう努めさせて頂く事を誓い合わせて頂きました 加えて多くの青年会員が参集した青年会笠岡分会総会では 青年会員が「あらかとよりよう」の自覚を高め 荒れ地を開拓し陽気ぐらし実現に貢献できるようたすけ一条に邁進する事を誓い合わせて頂きました

更には又 来年一月は春の大祭月でございますので 直轄教会に大祭参拝をさせて頂き 記念祭に向けて二年目の活動目標の徹底を図らせて頂く所存でございます

何卒親神様には 世の中が目まぐるしく移り変わる中であつて

親孝心の変わる事なくたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に自由のご守護を賜り 陽気ぐらしへお連れ通り下さると共に 心穏やかな明るく勇んだ年末年始となるようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



立教183年今年の元旦はとても穏やかな晴天に恵まれ、思わず東の空に感謝の手を合わせた。我が教会の元旦祭は近年午前8時から開始で午前5時頃の起床である。御神酒と若水を準備し、神殿と信者の着替え室に暖を入れ献せんを行う。普段の月次祭には滅多にお目にかかれない人も元旦祭だけには初詣に来られる人もいる。用木でない子供にもおつとめの手伝いをして貰い、賑やかに座りづとめ・十二下りをつとめた後、三殿礼拝で元旦祭を一旦締め教祖殿に移動、整列して御神酒を頂く。毎年の様に会長として昨年の御礼と今年の抱負を述べるのだが、昨年までは恒例の挨拶で終えていたが何故か今年は別席者のご守護とおつとめ奉仕者増員に力を入れなければという気持ちが強くなり、この席で皆にその旨を伝えた。三年千日、二年目の今年は動きのある教会として一歩でも二歩でも前進できる様つとめさせて頂き、信者の方々と共に創立130周年並びに就任奉告祭を迎えさせて頂ければどれだけ有り難い事だろうと思つた。



立教183年
(2020年) 4月19日 日

■ 式典

午前10時

本部中庭

南・東礼拝場前 西境内地

■ 記念行事

パレード「パワー結集! よろこびのパレード」

と き: 立教183年(2020年)4月18日(土) タブとめ後

記念講演会「陽気ぐらしへ向かう道」

と き: 立教183年(2020年)4月19日(日) 午後1時

■ 別席強調期間

▶ 立教182年(2019年) 10月20日~11月30日

▶ 立教183年(2020年) 3月20日~ 5月10日

10月20日~11月30日

天理教婦人会

創立110周年記念

第102回総会

